



若い農業者が地域の活性化を担う!! ～“ひろしま活力農業”経営者育成事業～

地域農業を支える若くて優秀な 農業経営者を育成しています

4月から“ひろしま活力農業”第22期生の研修が始まり、センターのほ場で4人の研修生が、日々、汗を流しています。

研修期間は約2年間で、1年目はセンターのほ場で基礎的な栽培技術などを学び、2年目は就農予定地の約30アールのビニールハウスで実地研修を行い、広島近郊6大葉物野菜のコマツナやホウレンソウなどの生産農家として、新規就農を目指します。

研修を終えた活力生が各地で活躍しています

“ひろしま活力農業”経営者育成事業の研修を終えた活力生は、これまでに42人が安佐南区、安佐北区、安芸区、佐伯区や広島広域都市圏の安芸太田町に就農しており、昨年度の年間出荷額は全体で約6億円、地元雇用は約200人となっています。

今年の研修生のうち、静岡県浜松市から1ターン就農を目指す宮崎光太さん(30歳)は、佐伯区湯来町水内地区の就農者第1号として、来年4月から実地研修を開始する予定です。

その宮崎さんと湯来町水内地区で農地や居住地のあっせんなどにご尽力いただいている湯来町水内地区町内会連合会会長の品川國彦さん、元農業委員会農地利用最適化推進委員の中川完治さんに、就農への意気込みや地域振興の思いなどを聞いてみました。



佐伯区湯来町水内地区の就農予定地で語り合う品川さん、宮崎さん、中川さん(左から)

宮崎光太さん

☆農業を目指したきっかけは「もともと体を動かすのが好きで年齢にとらわれず長く働き続けられる仕事がしたい」としており、自分の努力と工夫が経営に反映される農業に魅力を感じていました。」



☆この研修に応募した理由は「全国の新規就農者制度を調べる中で、“ひろしま活力農業”経営者育成事業は、募集段階で就農予定地が確保されているなど、就農の確実性が高いと判断しました。また葉物野菜栽培は、家族労働に頼らず、自分の力とパートの雇用で経営できることも決め手になりました。」
(2ページへ続く)



センターの研修で汗を流す宮崎さん(左:播種作業、右:調整作業)

(1ページより続く)

☆湯来町でどのような農業を目指しますか

「自然豊かな湯来町が気に入りました。農業にまじめに取り組むことで、地域の方に信頼していただけのような農家になり、将来的には地域の活性化に向けて活動したいと考えています。」

品川國彦さん

(湯来町水内地区町内会連合会会長)

「昨年の研修生募集の段階からPRイベントの場に参加し、湯来町の魅力を伝えてきました。現在、住居の確保を市と連携して進めています。」

宮崎さんには、まずご自身の農業に集中していただけるよう、可能な限りサポートしたいと考えて



第22期研修生の皆さん

います。

これからも第2、第3の活力生を受け入れる準備を進め、地域を活性化していきたいです。」

中川完治さん

(元農業委員会農地利用最適化推進委員)

「今回、多くの地権者の方にご協力をいただき、約90アールの農地を集積することができました。」

湯来町では、農業者の高齢化などにより耕作放棄地が増えてきていますが、こうした中、活力生を受け入れることになり、大変期待しています。

湯来町はアユや山菜など四季折々の自然の恵みが豊富です。宮崎さんには、日々の生活を楽しみながら農業を営んでいただきたいです。」

◎研修生募集!

第23期の研修生は、9月から募集を開始する予定です。詳しいことは、下記までお問い合わせください。

☎ 農業担い手育成課 (☎842-4421)



トラクターで耕うんする根角豪さん



コマツナを収穫する峠谷彰寿さん



コマツナを袋詰めする楠和也さん

『自分たちの森林は自分たちで守る!』
 ~自伐林業に取り組む森林所有者や地域住民を支援しています~



自伐林業とは・・・

森林の管理を「森林組合」などの林業事業体に頼らず、森林所有者等が自ら行う自立・自営型の林業です。地域に根差した林業として、現在、全国各地で広がっています。

近年、戦後植えられた人工林が伐採期を迎える中、多くの森林が木材価格の低迷や林業の担い手不足などの理由により管理が行われ

ないまま放置されています。

適切な管理が行われないまま山が荒廃すると、土砂災害や洪水の防止、きれいな水や空気の供給など森林が持つ公益的な機能が十分に発揮されなくなります。

センターでは、森林整備に関する各種講習会を開催し、森林所有者や地域住民が取り組む自伐林業を支援しています。

講習の内容、日程、募集人数、申込方法などの詳しいことは、下記までお問い合わせください。

☎ 農林振興課 (☎845-4348)

- ~~今年開催予定の講習会~~
- 簡易集材機による木材搬出講習会
 - 木材搬出入門体験講座
 - 間伐安全講習会
 - 作業道開設講習会
 - チェーンソー等特別講習



ロープウィンチを使用した搬出作業 (上・下)



伐木作業



造材作業

あなたも 6次産業化に 取り組んでみませんか

1次 × 2次 × 3次

6次産業化とは・・・
農林漁業者が、農林水産物の生産（第1次産業）だけでなく、それを原料とした食品加工（第2次産業）、流通・販売（第3次産業）にも取り組み、所得を向上することで農林水産業を活性化させ、農山漁村の経済を豊かにしていこうとするものです。

広島市では、安芸区阿戸町の生産者グループ「阿戸町ふるさと起こし」が地場産品を活用して商品化した「ババチャップ」があります。

この「ババチャップ」は、町内で栽培される調理・加工用品種のイタリアントマトに香辛料を加え

てケチャップに加工し、販売されています。

「ババチャップ」のお披露目会に参加した消費者からは「サラダにもソテーにもよく合う。家で使ってみたい。」などの声があり、県外から取り寄せの注文が入るほどの人気商品になっています。

このように地場産品を使用して6次産業化に取り組めば、全国展開することも夢ではありません。

あなたも6次産業化に取り組んでみませんか。

センターでは、6次産業化アドバイザーの派遣や講習会の開催により、皆さんをサポートします。興味のある方は、お気軽に下記までお問い合わせください。

☎ 農林振興課 (☎845-4347)



6次産業化の講習会



ババチャップ



ババチャップのお披露目会

シジミ種苗生産を開始します

水産振興センターでは、近年減少しているシジミ資源の回復を目指し、平成23年から種苗生産の技術開発に取り組んできました。

これまでの7年間で採卵方法や餌の種類などに関する様々な試験を行い、種苗を安定して生産することができるようになりました。

そのため、今年からシジミの種苗生産を事業化して20万個の種苗を生産し、広島市が漁業団体に売却します。



シジミの種苗生産風景

シジミの資源回復に取り組む広島市内水面漁協の鈴木組合長に話を聞きました

☆現在の漁獲状況は？

「最盛期の昭和43年には約300トンだった漁獲量が、平成30年には約21キロと激減しています。」

☆資源が減少した原因とこれまでの取り組みは

主な原因はクロダイによる食害です。河川で捕獲したクロダイの消化管から多量のシジミの貝殻が



クロダイの消化管から出てきたシジミの貝殻

確認されています。これまで試験的に生産された種苗を用いて、センターと共同で食害対策に関する様々な試験を行ってきました。

☆これからの取り組みと今後の抱負は

これまでの試験結果を踏まえ、種苗を塩ビ管に収容してクロダイの食害から保護し、母貝まで成長させる“母貝団地”を造成し、資源の回復を図ります。

☎ 栽培漁業課 (☎277-6609)



母貝団地



ミニ水族館にお越しくだけさい

水産振興センター

広島湾や太田川に生息している魚介類や水産振興センターで生まれたオニオコゼなどの赤ちゃんを展示しています。

魚の体の構造や生態などについて、楽しく学べる機器などもありますので、夏休みにはお子様と一緒ににお越しくだけさい。



ボクの名前を調べてね

- 開館時間 午前8時30分～午後5時
- 入館料 無料
- 休館日 土曜日・日曜日（第3日曜日は開館）、祝日、年末年始、8月6日
- ☎ 普及指導課（☎277-6609）

『ドッグラン』が楽しいよ



花みどり公園

オープンから5年目を迎える「ドッグラン」が、利用者の皆さんに喜ばれています。

大型犬用（1,000㎡）と小型犬用（800㎡）にエリアが分かれて利用しやすいことや2重ゲートで逸走が防止でき、木陰もあって犬も人も一緒にくつろげると評判です。

昨年は8,700匹の愛犬と12,500人の愛犬家が利用されました。

リードを付けければ園内で散歩も楽しめます。

皆さんも、休みの日には時間が経つのを忘れ、愛犬とのんびりしてみませんか。

- 利用時間 午前9時～午後4時
- 利用料 無料
- 休園日 火曜日（火曜日が祝日の場合は翌日）、年末年始
- ☎ 花みどり公園（☎837-1247）

犬も人ものんびり



受付



大型犬用



小型犬用

「女性のための森林づくり入門体験講座」

将来にわたり健全な森林を保全するためには、森林所有者だけでなく、市民一人ひとりが自然や森林づくりに関心を持ち、お互いに協力しながら森林づくり活動に積極的に参加していくことが重要です。

とりわけ、これまでの森林づくり活動では女性の参加者が少なかったことから、センターでは、多くの女性に森林づくりに関心を持ってもらえるよう、女性が無理なく、安全に楽しみながら学ぶことができる「入門体験講座」を開催しています。



植物の観察

女性の講師を招き、女性ならではの視点で森林づくりの意義や楽しさを学ぶことができます。

皆さんもこの機会に、参加してみませんか。

- ☎ 農林振興課（☎845-4348）



森の健康診断



木作り（スプーン）

～あなたも参加してみませんか～

“女性講師の声”

宇都宮雪代さん（木こり屋BunBunBaum）

「私が森林づくりに参加したきっかけは、たまたま見つけた林業の職業訓練に申し込んだことです。当時はナタや手ノコすら触ったことがなく、苦労もありましたが、それをはるかに超えるやりがいや楽しさがありました。

山には色々な関り方があります。男性も女性もそれぞれに合った方法で、楽しみながら山と関っていくことが、森林を健全に保つ第一歩なのかなと思います。」



講師の宇都宮さん